

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和3年9月2日

施設名	塩見記念青少年プラザ	所管課	教育委員会生涯学習課
-----	------------	-----	------------

1 施設の概要

指定管理者名	(特非)たびびと	指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
施設所在地	高知市小津町6-4		
業務内容	<p>・施設の利用の許可に関すること ・施設及び設備の維持管理に関すること ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関すること ・主催事業を計画し、実施すること</p> <p><令和2年度主催事業> ・大人のための絵本読み聞かせ ・もぐもぐ ・ケン玉教室 ・ビーズアクセサリィ ・空手体験教室 ・電気の不思議 ソーラーカーを作ろう ・手話講座 ・図書館司書の仕事講座 ・声優教室(全4回) ・声優ステップアップ塾(全5回) ・オカリナ教室(全6回) ・朗読発表会 ・脳の百歳体操 ・筆ペンで年賀状を書こう! ・アナウンス・キャスター体験 ・あしなが募金 チャリティーバザー ・クリスマスコンサート ・将棋大会 ・高知城英語ガイド講座(全3回) ・あそぼーや!! ・こづかいの達人 ・もってけバザー ・ツイッター事業 図書室探検1 ・公募 ツイッター事業2 ・本のチャリティーミニバザー1 ・本のチャリティーミニバザー2 ・本の譲渡会 ・冬の交通安全教室 ・漆喰ダンゴをつくろう!</p>		
施設内容	<p>青少年教育施設として、「青少年に対し、主体的な活動の場を提供することにより、青少年の社会性を養うとともにその健全な育成を図る」という設置目的に基づき運営している。</p> <p>構造:鉄筋コンクリート5階 延べ1,597.17㎡ 施設概要:駐車場、駐輪場(1階) 事務室、少年サポートセンター(事務室、相談室、面接室)(2階) 教育相談研究所(事務室)、小中PTA連合会(事務室)、会議室、共用相談室、音楽スタジオ(3階) まんが図書館、学習室、トークサロン、やまもも(事務室) PRINK思春期相談センター(事務室、相談室等)(4階) 多目的室、倉庫(5階)</p>		
職員体制	職員:館長1名 チーフ兼会計1名 事務員5名 合計:7名		

2 収支の状況

(単位:円)

		R01年度(決算)	R02年度(決算)	R03年度(予算)
収入	県支出金	20,211,000	20,236,000	20,256,000
	事業費収入	268,055	170,874	230,000
	収入計	20,479,055	20,406,874	20,486,000
支出	事業費	991,807	693,812	1,096,000
	管理運営費	7,460,128	7,426,045	7,532,000
	人件費	10,758,322	11,084,611	11,006,000
	消費税	721,000	927,000	852,000
	支出計	19,931,257	20,131,468	20,486,000
使用料収入		953,880	554,876	710,000

3 利用実績

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均
利用者数			22,010	31,926	25,620	26,519

H28～H29年度は閉館中であり、H30.6.17リニューアルオープン

4 業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫しながら良く取り組んでいる。 ・青少年の居場所として、また地域の憩いの場として利用してもらえるよう、チラシを配布したりWEBを活用したりマスコミ報道を依頼するなど努力している。 ・気持ちのよい声がけや挨拶に努めている。 ・通常のバザーはコロナ禍で中止したが、本の譲渡会を行い収益金をあしなが募金に送金する活動を行っている。 ・ツイッターへの積極的な取組は評価できる。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で安全を確保した取組(例えば、換気や密にならない配慮)は明確に実施されており評価できる。 ・大学生の利用者の拡大を考えるならば、大学生の利用料が高額であるため、利用枠の検討を考えることが求められる。 ・利用者アンケートの取り方について、質問項目を設けて施設の課題を明確にできるようにしてはどうか。例えば「設備に関すること」「図書館の利用方法や蔵書について」「企画・イベントについて」「スタッフの対応について」など。 ・意見箱を活用して、利用者の声を聞き、運営に生かしている。 ・8月は休館日をなくし、利用者のニーズに応えたり、オーテピアが休館する月曜日の利用者が多いため、会議室や多目的室を必要に応じて開放していることが評価できる。 ・日曜・祝日・長期の休みにランチルームを開設し、利用者のニーズに応えている。
③施設の運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の懸案事項であった入居者とのコミュニケーションの問題も改善され円滑に運営できている。 ・不特定多数の方が利用する施設であるため、危険箇所の予知や点検、改修など安全対策は継続してほしい。 ・複数の入居団体すべての鍵台帳を作成し鍵の所在を明確にしている。 ・連絡事項が抜からないように、回覧確認厳守を行っている。 ・消防計画の再編を行い、8月・2月に全館消防訓練を行っている。 ・利用人数制限により、コロナウイルス感染症対策に努めている。 ・細部にわたる部分にまで、コミュニケーションを大切に運営されている点が評価できる。
④利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みを全て開館にした判断はとても良い。 ・感染症対策を念頭に利用者人数の制限を設けるなどしながら安全に利用できる施設運営を心がけてほしい。 ・コロナの状況により中止になってしまった事業もあるが、利用者は25,600人を超えていることは評価できる。 ・コロナ禍という状況と上手く折り合いをつけていると感じた。

⑤収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・予算に合わせて管理できている。
総合評価	<p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独自の主催事業をコロナ禍でも展開し、施設の特徴を十分に発揮していることは評価できる。 ・施設を中心的に利用する世代(ターゲット)のニーズを汲み取って、まだできることがあるのではないかとこの視点で日々改善に努めてほしい。 ・大学生にも使ってもらえる施設、という視点はとても重要で、特に高校生までに利用した方が再び訪問してくれる、というのは施設管理者としても嬉しいことだ。大学生の利用料金を下げることではなく、大学生ならではの利用方法や大学生に必要な施設のあり方や機能とは何かということを検討してみてもどうか。生涯学習の視点から大学生にとって必要な(求められる)青少年プラザの姿をイメージしながら、具体的には何があればいいのか、どんなことで大学生とプラザの間に接点があればいいのかをぜひ考えてほしい。 ・青少年が利用しやすい、また地域の人に親しみやすい施設にしようと様々な事業を行っている。 ・入居団体の中には青少年関係の団体もあるので、それらの団体と連携をとった事業を展開してみてもどうか。

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※「施設からの状況説明に対する評価・意見」欄には、各施設の品質向上及び利用者拡大に向けて、①から⑤までの項目に沿って、努力成果が見える点や改善が必要だと感じる点、その他特記事項をご記入ください。

また、他の参考になるような業務改善の取組については、総合評価欄にご記入ください。